

めざせ！
センテナリア

研究室からちょっとひとこと 2024夏

なるべく薬を飲まない。水素で真の健康な生活を②



高血圧は病気ではなく症状。薬には要注意。

春号について、今回も薬、特に血圧について述べます。

日本人が1番多く飲んでいる薬は降圧剤です。厚生労働省の調査によると、70歳以上の過半数が常用しています。

医薬品添付文書という医薬品の公式文書では、降圧剤には心臓病、脳卒中、腎臓病などの効果はありません。製薬会社が大学病院に莫大な研究費を提供して、これらの効果をねつ造した論文を作りましたが、薬事法違反で逮捕され、裁判になり、論文はすべて撤回されました。(いわゆるディオバン事件)※

薬は異物なので、必ず副作用があります。特に高齢者では降圧剤の服用により脳梗塞の副作用があるため、慎重投与と書かれているのです。つくられた基準で患者の状態も詳しく見ないで、降圧剤を処方するのは医師の怠慢です。日本では科学的評価をしないで、健康な人が異常(要指導・要医療)と判定されて、健康不安を抱いたり、危険な薬を飲まされたりしている場合も多いのです。

年齢とともに血圧があがっていくのは当たり前です。欧州ではいまだに年齢+90あたりが普通ですし、**高血圧は病気ではなく症状**なのです。

※ディオバン事件とは高血圧治療薬ディオバン(一般名バルサルタン)に関わる5つの臨床研究論文不正事件をいう。その中でも2009年に論文化された京都ハート研究(KHS)は製薬会社元社員が2014年6月に論文作成に不正に関与したことで、薬事法違反疑いで逮捕され、裁判となった。

日本医師会ホームページより

https://www.med.or.jp/doctor/rinri/i_rinri/h12.html

水素は自律神経を整え、降圧効果を発揮。

医者、国民の税金、患者の自己負担金が財源です。医師などの教育・研究にも税金が使われています。サラリーマンなら給与の5%ぐらいが健康保険料として天引きされ、会社も同額を負担しています。誰も痛まないようですが、これからの世代の人たちの結婚・子育てに使われるべき税金が、無駄な薬に使われるのはしのびないですね。

ちなみに、運転免許には更新があるのに、医師免許は一度取得すると講習も更新もありません。我々も、少し勉強して、自分と家族の健康を守るために、心あるちゃんとした医者を選ぶことも大切です。

慶應義塾大学医学部が、2020年に『毎日1時間の水素吸入が自律神経のバランスを整え、降圧効果を発揮する』という論文を発表しました。これにより、水素への注目が俄然高まりました。

水素は薬ではありませんが、血圧、炎症、慢性疾患などさまざまな症状を改善し、そのうえ副作用は全くありません。「ちょっと本当?」と言われるぐらいですし、水素を「怪しい」という人もいます。たしかに、水素を扱う怪しい業者も存在します。**ただ、怪しいのは「水素」ではなく、それを扱う人間たちです。**ですから、水素に関する正しい知識をもつことが大切です。「水素医学研究」「水素医学」などのワードで検索してみてください。水素のすばらしさをご理解いただけたらと思います。

詳しい水素医学・水素研究については

水素医学研究

検索